



「永久津小学校のシンボル」

～永久津っ子を見守るレリーフと時計台～



【写真】伝統芸能の「めしげ踊り」。

永 久津小学校は、小林市西北部に位置する児童数八十名（男子四十九名、女子三十一名）の学校です。

永久津小学校の校門を入るとすぐ目につくものが、校舎正面にあるレリーフと時計台です。

まずレリーフは、地域の伝統芸能「めしげ踊り」をモチーフにしてあります。この踊りは、学校の特色ある教育活動として位置づけられており、めしげ踊り保存会の方々に指導していただきながら、毎年、運動会で披露しています。昨年度は、保存会の方々も一緒に踊っていたことができました。この他にも、田植え、稲刈り、脱穀、そば栽培、ジャガイモの植え付けなど地



【写真】シンボルであるレリーフと時計台

「霧島おろし みねの雪 はださず寒さ たえぬいて きょうもはげみの時計台 たゆまず学ぶ学園は 我が永久津 永久津小」

と校歌にあるように、これも永久津小学校のシンボルになっています。この時計台に見守られながら、永久津っ子たちは、朝のボランティア活動や、勉強、運動をたゆまず学んでいます。



「インディアカ」 ドイツ発祥。いつでもどこでもだれでもできるスポーツ。



羽根の付いたインディアカボール。

毎 週末曜日の10時から、市民体育館でインディアカというスポーツが行われています。インディアカとは、羽根の付いたボール（インディアカボール）を、バレーボールのように打ち合うスポーツで、スポレクの競技にもなっています。

ボールには羽根がついていて、打ち合うボールのスピードはゆるやかです。またボールは小型で軽量、柔らかいので片手で簡単に打てます。ボールへの恐怖心も少なく、突き指の心配もありませんので、初心者や高齢者でもゲームを楽しむことができます。

そんなインディアカに汗を流すのは、「小林市インディアカ協会」のみなさん。真剣ながら笑い声が館内に響きわたります。

「会員は現在13名。みんなでワイワイ楽しくやっています。」と会員の古川智恵さん



毎週木曜日、午前10時から行われるインディアカ。

さっそく広報担当も、インディアカに挑戦してみましかく、コントロールドールしやすさ、サーブも簡単。ボールのスピードは早すぎず、遅すぎず適度な運動ができそうです。お互いに声も掛け合うので、コミュニケーションが取れました。

小林市インディアカ協会は、随時会員募集中。男女問わず気軽に見学や体験を受け入れています。



「地域を見守る樹木」 ～大沢津のオガタマノキ～

Vol.36



大沢津のオガタマノキ

オ ガタマノキはもくれん科の常緑高木で、本州関東から沖縄に分布し、古くは柵などとともに神前に供える木として用いられたものです。神社の境内などによく植栽されており、春には径3センチほどの白い花をつけます。和名は招霊から転化したもので、枝を神前に供えて神霊を迎えるというのに基づきます。

大沢津のオガタマノキは、宮崎へ向かう国道268号線栗須橋を渡ってすぐ左折し、八尾神社に向かって進むと、左手上方に見えます。幹周約550センチ、樹高約16メートル、推定樹齢400年で、平成4年には「宮崎の巨樹100選」に選ばれ、墓地の一角にどっしりと構えています。いつごろから墓地の守り神として植えられたかは不明ですが、オガタマノキとしては全国でも最大級を誇り、まるでこの地域を見守っているかのようです。平成6年3月18日には市指定天然記念物として指定されています。



Dumplings and flowers (花と団子)

Vol.46



皆 さんこんにちは。花見の時期は過ぎました。今年花見に行かれましたか？私は出来るだけ毎年花見に行くようにしています。が、ニュージーランドでは全然行きません。なぜなら花見のような習慣がないからです。

ニュージーランドでの花見に近い習慣といえば、公園や浜辺でピクニックかバーベキューをすることです。ピクニックにはサンドウィッチやサラダ、チーズをよく持っていくきます。バーベキューは日本と似たようなものですが、行き先に設置してある道具を使います。自宅のバーベキューセットは持って行きません。そして、食べたり飲んだりすることを楽しみます。つまり「花より団子」。

もちろんピクニックやバーベキューをする中で遊びながら自然を楽しむ人は多くいますが、日本の花見のようにゆっくり風景を楽しむ人は少ないと思います。これは、おそらくキリスト教の影響ではないでしょうか。神様はキリストだけなので、日本のように自然の中にもいる神様などへの気持ちや、少し薄いのだと思います。

私は、せっかくだけで食べるなら、周りの風景を味わいながら食べると思えます。つまり「花と団子」。ニュージーランド人はピクニックやバーベキューよりカフェで自然をゆっくり味わうことが多いです。その気持ちやピクニックやバーベキューにまで広がると思います。